

①業務改善事例	
職場ドック該当事例	
②府民サービス向上事例	○

チーム名	チームPM2.5
担当者 【所属名】	文化環境部環境・エネルギー局 環境管理課 五十嵐副課長、保本主査、岡田主査、横谷主任

タイトル	PM2.5・環境放射線 日本一わかりやすい情報発信
------	---------------------------

アピール ポイント	○こども達にわかりやすい啓発ビデオ開発！ ○全国発のdボタン活用！
--------------	--------------------------------------

背景	PM2.5
	<ul style="list-style-type: none"> ・中国大陸からの越境汚染等によりPM2.5への府民の関心が高まった ・国のホームページはフリーズ、問い合わせの電話が府に殺到 (府が測定・送信したデータを国が情報発信していたが追いつかず) ・国は、5時～7時のデータで注意報を発令を判断する指針を発表 ・市町村等から早朝出勤体制について不安と混乱 ・監視網は工場等の都市部中心で、越境汚染のような広域汚染には非対応 ・測定局は学校にも設置されているが、こども達へ情報発信機能がない
	環境放射線
	<ul style="list-style-type: none"> ・放射線情報発信について、インターネットでリアルタイム発信

改善 内容	PM2.5
	<ul style="list-style-type: none"> ・国まかせにせず、府独自の情報発信システム整備 ・前日予報の監視体制を確立 ・新たに小学校と保育園に測定機設置し、監視網を更に充実 ・こども達や保護者への情報発信方法を先生と協議
	環境放射線
	<ul style="list-style-type: none"> ・放射線情報をインターネット以外にテレビでも発信できないか、虎の門のマルチメディア振興センター、NHK、KBSと交渉

成果	PM2.5
	<ul style="list-style-type: none"> ・全国トップのきめ細かい監視体制整備、リアルタイムに情報発信 → 府民の安心安全に貢献 ・前日夕方に関係機関へ予測を連絡、早朝出勤を必要最小限に 全国初 → 関係機関から大好評 ・こども用のPM2.5啓発ビデオを作成、測定所で放映 全国初 → こども達の安心・安全に貢献
	環境放射線
	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビのdボタンで環境放射線データをリアルタイム発信 全国初 → 全国のモデルケースとなり、問い合わせが殺到

今後の 展開	<ul style="list-style-type: none"> ・更にPM2.5にもdボタン情報発信を拡充 ・環境データをわかりやすく視覚にうたえる情報発信に取り組む
-----------	--

